

【乗川聡ゼミナール】 2025 年度 活動報告

対象地域	栃木県内
テーマ	大学生による放置竹林問題解決への取り組み
キーワード	地域活動 サードプレイス パラレルキャリア 関係人口 自律的チーム 放置竹林

乗川ゼミ(2年生)では、地域活動(ボランティア、ソーシャルビジネス)の経験がない大学生が、県内 NPO の活動への参加を通じて、地域が抱える様々な問題(少子高齢化、環境保全、コミュニケーション、etc.)を理解し、その具体的な解決策を考え、提案することを活動目的としています。したがって、ゼミ活動においては学外活動(フィールドワーク)を重視しますが、学生は、自らの活動の「理論的バックボーン」として、「サードプレイス」「関係人口」「パラレルキャリア」「自律的チーム」などの概念とその実例を、テキスト輪読やグループディスカッションを通じて学びます。

乗川ゼミがこれまで具体的に取り組んできた活動内容は多岐に及びますが、ここ数年は放置竹林問題に取り組んでいます。竹林整備活動への参加や、放置竹林の竹材を使用した竹ラタン制作・展示活動を行い、その成果を「ゼミ合同発表会」で発表していますが、2025 年度は前年度に引き続き栃木県の「大学地域連携活動支援事業」に採択され、栃木県内の行政機関や NPO 団体、企業などと連携して実施した放置竹林問題対策活動の成果を栃木県庁で報告する機会を得ました。以下の活動報告は同事業に関連して実施されたものです。

● 放置竹林整備活動への参加(2025 年 6 月)

・乗川ゼミでは春の恒例行事として、NPO 団体「トチギ環境未来基地」と地域団体「たけのわ町田本郷」が茂木町町田本郷地区で取り組んでいる放置竹林の整備活動に参加しています。2025 年度は乗川ゼミ生(2 年生 8 名、1 年生 7 名)が参加しました。学生たちは現地を実際に訪れ、竹を切り、枝を落とし、保管場所まで運ぶ作業を経験することで、竹林整備活動の大変さと、その作業に従事する人材が過疎化と少子高齢化のため不足している現状を知ることとなりました(写真①・②)。



写真①



写真②

● ワークショップ開催のための準備(2025年6~11月)

竹林整備活動の他、乗川ゼミでは、放置竹林問題について啓発するワークショップを開催することで問題解決に貢献しようと考え、そのための準備を進めました。まず、ワークショップ参加者に説明できるよう、ゼミ生は放置竹林問題について学習し、竹ランタンの作り方を覚えてから、放置竹林問題について簡単にまとめたシート(写真③)と竹ランタンの作り方を説明するためのシート(写真④)を作成し、ワークショップの開催に備えました。



写真③

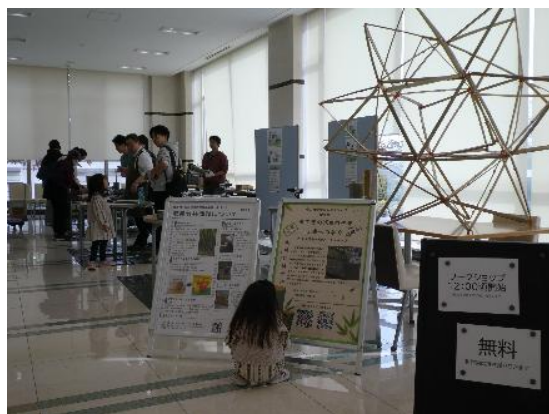


写真④

● 竹ランタン制作・展示ワークショップの開催(2025年6~11月)

ワークショップでは、ゼミ生がインストラクターとなり、放置竹林の竹材を使用したランタン制作を参加者に体験してもらいながら、放置竹林問題に関する話を聞いてもらうという方法を取りました。

・ワークショップは宇都宮キャンパスで開催されるオープンキャンパスや学園祭で開催したほか、宇都宮の道の駅として有名な「ろまんちっく村」でも開催し、多くの方々に参加していただきました(写真⑤・⑥)。



写真⑤



写真⑥

● **活動成果の発表(2024年12月～2025年2月)**

・乗川ゼミは、毎年12月に開催される「ゼミ合同発表会」に参加し、活動成果を発表していますが(2025年12月20日)(写真⑤)、2025年度は「大学地域連携活動支援事業」の規定に基づき、茂木町でも活動報告のためのイベントを開催しました(2026年1月25日)(写真⑥)。その後、同事業の成果報告会が栃木県庁で開催され、ゼミ生の代表者が参加し、発表しました(2026年2月6日)。



写真⑦



写真⑧

以上